

令和 6 年度(2024 年度)
第 2 回熊本博物館協議会

令和 7 年度事業計画について (案)

令和 7 年(2025 年)3 月 19 日(水)午前 10 時

熊本博物館

目次

1. 展示活動	・ ・ ・ ・ ・ P 1
2. 博物館における教育・普及活動	・ ・ ・ ・ ・ P 4
3. 保存修復事業	・ ・ ・ ・ ・ P 8
4. 施設整備事業	・ ・ ・ ・ ・ P 8
5. 塚原歴史民俗資料館関係	・ ・ ・ ・ ・ P 9

1 展示活動

(1) 特別展

①夏季特別展「江戸の遊び絵づくしー粋でゆかいな浮世絵ワールドー（仮）」

【目 的】本展覧会は株式会社アートワンの企画による巡回展で、熊本博物館人文分野では初の巡回展開催となる。江戸文化が爛熟期に入っころの「化政文化」を背景として、浮世絵では歌川国芳が得意とした「寄せ絵」、視覚の錯覚をねらった「だまし絵」、クイズもどきの「絵解き」「判じ絵」など、洒落とユーモアに富んだ造形の遊びの世界が繰り広げられた。現代人にも通じる江戸期庶民の洒落とユーモアを紹介する。

【内 容】

- 1 よって、たかって、こしらえる（歌川国芳「みかけハこハゐがとんだいゝ人だ」等）
- 2 ふしぎなからだー合体・あべこべ・顔三つ！？（「五子十童図」等）
- 3 幸せはこぶラッキーアイテム（「七福神 宝の蔵入」等）

ほか、全115点

【会 場】特別展示室1・2・3

【期 間】令和7年7月12日（土）～ 8月31日（日）（44日間）

②冬季特別展「ヘルンさん熊本暮らし（仮）」

【目 的】本展覧会は小泉八雲ことラフカディオ・ハーンが「ヘルンさん」として過ごした熊本の3年間を中心に取り上げ、作品に関するもののほか、熊本で出会った人びとやそこでのハーン一家を感じられる資料を展示する。本展を通して、『怪談』だけでなく、豊かな感受性から紡ぎだされるハーンの世界に触れていただき、私たちの先祖がかつて営んでいた暮らしについて紹介する。

あわせて小泉八雲記念館長小泉凡氏をはじめとした講師陣による講演会を企画している。

【内 容】

特別展示室1 ヘルンとその家族

旅行免状、ヘルン着用スーツ（夏）、ヘルン着用帽子（夏）、ヘルン使用のトランクケースなど

特別展示室2 ヘルン 熊本に暮らす

草稿「橋の上」、初版本、ヘルン使用の煙管、ヘルン使用の望遠鏡、小泉セツの英単語帳一雄への英語教育用資料 など

特別展示室3 ヘルンの居た熊本

ヘルン（作品）ゆかりの地の写真や紹介など（小峰墓地ほか）

【会 場】特別展示室1・2・3

【期 間】令和7年12月2日（火）～ 2月15日（日）

(2) 企画展・共催展

①企画展「送る一熊本県下の精霊流しー」

【目 的】本展示は令和5年度から令和6年度にかけて行った県下の精霊流しに関する調査・研究に基づいた企画展。精霊流しは盆の最終日に行われる精霊送りのひとつの方法として知られ、かつては県下で広く、かつ大規模に行われていたが、現在はその伝承を確認できる場所も限られつつある。本展では県下の精霊流しの近代における変化を取り上げながら、慰霊と観光のはざまで揺れ動く近代以降の民俗行事を通して、民俗行事を継続するとはどういうことかを来館者に考えていただくことを目的のひとつとする。

【内 容】県下各地の精霊船、県下各地の精霊流し関係の写真パネル など

【会 場】特別展示室1・2・3

【期 間】令和7年3月25日（火）～6月1日（日）

②企画展「あなたのそばにもエイリアン（仮）」

【目 的】外来生物についての話題は報道やテレビ番組等で取り上げられる機会も多く、関心を寄せる人も多いトピックであるが、正しい知識や理解が十分に浸透しているとは言えず、誤った考えや行動につながっている事例も見受けられる。本展では「外来生物を正しく理解する」ための知識や情報を伝えることを目的とし、熊本県で確認されている外来生物を中心に現状や課題等を紹介する。

【内 容】外来生物について（定義、問題、課題等）、身近で見られる外来生物、外来生物トピックス（国内外来種、熊本市の取り組み等） など

主な展示資料：剥製、昆虫標本、さく葉標本、写真パネル 等

【会 場】特別展示室1・2

【期 間】令和7年10月4日（土）～11月30日（日）

③企画展「熊本地震10年展（仮）」

【目 的】熊本地震から節目の10年を迎えるにあたり、市民の防災意識の向上と、地震を起こし得る身近な断層の存在などをテーマに企画展を開催する。

【内 容】※調整中

【会 場】※調整中

【期 間】※調整中

④共催展「いきものフェアくまもと2025」

【目 的】生物多様性について楽しく学べる参加型・体験型のプログラムの実施を通して、私たちの暮らしが生物多様性に支えられていることや生物多様性を守ることの大切さを知り、市民自らが行動するきっかけを提供する。

【内 容】生物多様性の日イベントとして熊本市動植物園にて開催

(熊本博物館・動植物園・環境総合センター・環境政策課)

【会 場】熊本市動植物園

【期 間】令和 7 年 5 月 17 日 (土)、5 月 18 日 (日)

⑤共催展「熊本市遺跡発掘速報展」

【目 的】最新の熊本市内の発掘調査成果の公開

【内 容】文化財課との共催。近年に発掘した遺跡の出土遺物や解説パネルの展示を行う。

【会 場】※調整中

【期 間】※調整中

(3) その他の展示会

①「肥後しゃくやく展」

【目 的】栽培者はわずか数名で、一般の方が鑑賞できる機会は少ないため、熊本の伝統園芸として、広く知っていただく貴重な鑑賞の機会とする。

【内 容】肥後芍薬の切り花を展示

【会 場】塚原歴史民俗資料館

【期 間】令和 7 年 5 月初旬を予定

(4) プラネタリウム関係

①プラネタリウム投映

【目 的】星や星座、惑星などについて学ぶ機会を提供するとともに、天文・宇宙に関する情報発信を行う。

【内 容】

① 天文・宇宙に関する様々な話題を紹介する一般投映番組とともに、スタッフによる星空解説を行う (投映日の夜空等)。

② 幼稚園・保育園・こども園・小中学校の団体向けに、各学年の学習内容に応じた投映・解説を行う。

② 幼児投映・家族向けのファミリーアワー、特別投映、聴覚障がい者向けの「字幕付きプラネタリウム」等を実施する。

【期 間】令和 7 年度 (通年)

②プラネタリウム特別投映

【目 的】通常のプラネタリウムとは異なる趣向で、特別なプログラム構成となるよう工夫し、幅広い世代を対象にプラネタリウムへの興味・関心を一層高められるような投映

を行う。

【内 容】熟睡プラネタリウム、幼児向け七夕投映、はじめてのわくわくプラネタリウムなど

【期 日】 令和 7 年度は年に複数回実施 ※日程調整中

③字幕付きプラネタリウム

【目 的】聴覚に障がいのある方など、より多くの方々にプラネタリウムを楽しんでいただけるよう、音声だけではなく、字幕でもでも解説を行う「文字で楽しめる」プラネタリウム。

【内 容】一般投映番組の字幕付き投映

【期 日】 令和 7 年度 ※回数および日程は調整中

④小学校 5 年生：集団宿泊教室時の天文学習（プラネタリウム）受入れ

【目 的】金峰山少年自然の家の再開に伴い、集団宿泊教室の受入れが令和 7 年 4 月から始まる。その往路・復路において、希望校に当館プラネタリウムを活用した天文学習の機会を提供する。

【内 容】星空解説及び 5 年生の学習投映番組「星が見てきた KUMAMOTO」視聴

【期 日】 令和 7 年度中（通年） ※日程調整中

2 博物館における教育・普及活動

（1）講座・教室・イベント関係

①保存科学講座

【目 的】室内講座や解説を通して保存科学の概要を知ってもらい、文化財の保存に対する興味・関心を高める。

【内 容】5 月～翌年 3 月まで奇数月に実施。全 6 回。

②植物学講座

【目 的】室内解説や野外での観察会を通して生き物について学び、身近な自然に対する興味・関心を高める。

【内 容】5 月～3 月の期間に 6 回実施。室内学習や野外での観察会など。

③くまはくの ゆるゆる美術部

【目 的】熊本市域の美術品等について、関心を持つきっかけ作りを行う。

【内 容】6・8・11 月（全 3 回）。室内講座と見学会を実施予定。

④古文書講座（実践編）

【目 的】古文書の読解に関する室内学習。当館所蔵古文書をテキストとし、実践的な古文書読解力の向上につなげる

【内 容】5月～翌年3月までの奇数月に実施。全6回。

⑤自由研究相談会

【内 容】動物・植物や理科実験・科学工作などのテーマを中心に、小中学生を対象とした夏休みの自由研究の進め方や標本の収集方法、調べ方、まとめ方などについての助言を行う。

【期 日】テーマ設定：7月、まとめ・標本同定：8月 ※日程調整中

⑥「GW！大型連休はくまはくへ」

【目 的】学芸員・研究員の専門性を活かし、GW期間中に多様なイベントを開催し、博物館活動の多面的な魅力を伝える。

【内 容】各学芸員・研究員（各部門）の専門性を活かしたイベント・教室等を行う。

【期 間】4月29日（火）～5月6日（火・振）までの土・日・祝日：5日間実施予定

⑦「くまはく誕生月間イベント（2月）」

【目 的】昭和27年（1952）年2月4日に創立した熊本博物館の誕生月にちなみ、2月の土・日・祝日に各種イベントを開催することで当館への市民の関心を高めるとともに、博物館活動の多面的な魅力を伝える。

【内 容】各学芸員・研究員（各部門）の専門性を活かしたイベント・教室等を行う。

【期 間】令和8年2月：土・日・祝日の予定 ※日程調整中

（2）学校教育支援事業

①ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）

【目 的】博物館が有する価値ある収蔵資料及び学芸員・研究員の専門知識や技能を学校の授業に活用し、子どもたちの学習意欲や問題解決能力の向上に寄与する。

【内 容】主に小学校「社会科・理科」の授業を中心に、学芸員・研究員をゲストティーチャーとして派遣する。各分野の専門性や所管資料を生かし、実施可能な範囲で担任の指導を補佐しながら学習内容の充実を図るとともに教育効果を高める。派遣授業の内容を、タブレット端末のアプリ（Zoom）を活用して遠隔で行うなど、今後も感染症の流行状況や学校からの要請を考慮して取り組む。

※令和6年度中に「派遣授業プログラム集」を改定・配布。

※小学校・中学校の共通題材として、総合的な学習の時間や、その他の教科等での派遣

もあり。

【対象者】主に熊本市内の小中学校の児童・生徒・教職員（92 小学校、42 中学校）

【期 間】令和 7 年度（通年）

②学校 PTA 活動支援/社会教育施設開催講座協力

【内 容】自然科学への興味・関心を高めることを目的とした学年・学級 PTA 活動や公民館講座などに講師として参加。内容の充実及び活動目的達成のための支援を行う。

※こども科学・ものづくり教室で行っている科学実験・科学工作の中からいくつかの題材を選んで提供し、共に活動を楽しむ。

【対象者】主に小・中学生

【期 間】令和 7 年度（通年）

③館内学習支援活動（お迎え事業）

【目 的】「館内学習プログラム集」を活用し、学校団体利用時のオリエンテーション等において、館内展示資料の価値や魅力を紹介することで座学後に行う館内見学（学習）への興味・関心を高める。

【内 容】オリエンテーションの際に、館内展示物の価値や魅力を紹介し、館内見学への期待感を高めるとともに見学の視点を与える。団体予約時に館内学習プログラム集の中から 1～2 題材（1 題材：15 分間程度）を選んでもらい、要請に応じて実施。

※令和 3 年度に「プログラム集」を改定。令和 7 年度に再改定・配布予定。

【対象者】小中学校団体全般（市内・外）

【期 間】令和 7 年度（通年）

④小学校 5 年生：集団宿泊教室時の天文学習（プラネタリウム）受入れ（再掲）

※（４）プラネタリウム関係④に記載

⑤教職員研修等への協力支援（主催・参画・協力等）

【目 的】学校教育支援事業を補完する諸活動を実施し、博学連携の一層の充実を図る。

【内 容】教職員としての資質・能力の向上に資するための協力支援を行う。

- ・夏季休業中の教職員研修講座「館内学習プログラム解説編」
- ・小中学校「理科実技研修会（講習会）・巡検会」
- ・指導課・教育センター等の主催講座への協力
- ・教科等主任会（理科主任会等）からの要請講座
- ・教職員（及び中学生・高校生）の社会体験研修受け入れ
- ・教員のための博物館の日（※）実施協力

※博物館活動に親しむ機会を設け、博物館の資料や事業は「授業に活用できる貴重な学習指導の資源」であることを体験的に伝える。

・その他、上記の目的に沿う活動への協力

【対象者】教職員

【期 間】令和 7 年度（通年）

⑥熊本エデュケーションウィーク（KEW）での「博学連携事業の紹介動画」制作及び配信

【目 的】当館が行っている「博学連携事業」の一端を、学校関係者、社会教育関係者、児童・生徒・保護者、一般の方向けに広く周知する。

【内 容】令和 2 年度から「豊かな人生とよりよい社会を創造するために自ら考え主体的に行動できる人を育むとして」熊本市が主体となって始めた取組で、当館は令和 3 年度より参画。令和 3 年度～令和 4 年度は、館内での学習支援活動の様子、ゲストティーチャー派遣授業の様子、それらと関連した Zoom による遠隔授業・遠隔解説、オンライン学習支援の取組、教職員研修講座・中高生の職場体験事業・大学生の博物館実習等について紹介。令和 5 年度～令和 6 年度は、子どもや保護者を対象とした「参加・体験型イベント」を 2 カ年にわたって紹介した。

令和 7 年度は「自由研究」に関する動画を配信予定。

【対象者】児童・生徒・保護者、学校関係者、社会教育関係者

【期 間】令和 7 年度（R8 年 1 月下旬が K E W 期間：予定）

⑦こども科学・ものづくり教室

【内 容】主に小中学生を対象に「科学実験や科学工作」などの直接的な体験活動を通して身の回りの自然事象に対する興味・関心を高め、楽しく活動しながら科学の原理や技術（歴史や文化に関する内容も一部含む）について学ぶ機会を提供。

※子どもの心に不思議の種（ふしぎだね）を蒔く。色と光、振動と回転、空気と真空、電磁気、力学などをテーマとした科学実験・科学工作のほか、他分野の学芸員との連携による内容の充実を図る。また、大学や高専、教育サークル、NPO 団体との協働イベントも実施し、より魅力的な運営を行う。

【対象者】主に小中学生

【期 間】令和 7 年度（通年：年間 25 日間・50 回程度）

⑧こども自然学び教室

【内 容】自然系を中心とした体験型のこども向け講座。

・家族みんなで安心して参加できる室内体験教室

場所：実験・工作室及び講堂

内容：動物（ちりめんモンスターをさがせ）、植物（草木染体験） など

- ・フィールドに飛び出して本物に触れよう！野外観察会

場所：江津湖、立田山、など

内容：自然観察会

【対象者】小・中学生とその保護者

【期 間】令和 7 年度 ※回数および日程調整中

（３）博物館実習受け入れ

①博物館実習

【目 的】博物館は、学芸員をはじめとする博物館に関わる人材を育成する責務を有しており、職員自身も実習生の指導を行うことで、学芸員としての基礎・基本を再確認できる。このような実習受け入れを通して、当館の質の向上につなげるもの。

【内 容】文部科学省作成の「博物館実習ガイドライン」に基づき、実習生を受け入れる。

- ・実習生は公募受付け
- ・当館の実情を踏まえたカリキュラムを作成
- ・評価項目は「出席状況」「実習態度」「理解・知識」「能力」「実務状況」
- ・実習期間は 8 月下旬（6 日間）
- ・受け入れは自然系 8 名、人文系 4 名（合計 12 名の予定）

3 保存修復事業

①熊本博物館屋外展示 SL アスベスト飛散防止状況調査

【目 的】2021 年 4 月の「大気汚染防止法」の改訂に伴い、SL の蒸気機関部分の断熱材に含まれるアスベストの飛散状況等を検査し、必要な飛散防止対策を講じる。

【内 容】配管部や前面蓋部に塗布されていた可能性が高いアスベストの現状を点検するとともに、機関車周辺の空気環境調査も実施する。アスベスト含有部については飛散防止のための対策に活かす（除去・塗料で硬化等）。令和 7 年度も実施予定で、調査結果については、蒸気機関車の貸主である JR 九州とも共有する。

4 施設整備事業

①収蔵庫の状況と今後の取組について

【目 的】今後の資料収蔵について、様々な視点で検討を行うもの。

【内 容】現在の収蔵庫は、資料収集方針で収蔵庫容量が約 2 年延命、資料整理方針で収蔵庫容量を約 12 年延長、外部倉庫の活用で収蔵庫容量を約 11 年延命できることとなり、約 25 年延命でき、かつ約 25 年間は文化庁等の指針に基づいた適正な資料保管状況を確認

保することが可能である。但し、収蔵庫には限度があるため以下のとおり、取り組んでいく。

- ・令和5年10月に策定した「熊本博物館資料収集方針」を基に、寄託品の返却及び既存資料を整理することで保有資料の縮小化を図り、かつ、寄贈受入を厳格に対応することで資料増加を抑制する。
- ・敷地外収蔵庫の活用方策について、調査・検討を進める。
- ・資料収蔵活動は博物館活動の一環として継続していくため、収蔵庫の新築や改修等の事業計画を再度検討し、事業化を目指す。
- ・令和6年度以降は、プレハブ収蔵庫の改築計画と合わせて、館内収蔵庫の空調改修など、様々な視点での検討を行い、順次計画的に環境改善を図っていく。

②その他施設整備

- ・館内情報システムのサーバ機器更新、敷地内コンクリート電柱建替え等。

5 塚原歴史民俗資料館関係

(1) 展示活動（企画展等）

①企画展「世界の昆虫展 in 塚原」

- 【目 的】熊本博物館が所蔵する世界の昆虫標本等の展示を行い、普段見ることのできない昆虫への理解を深める。
- 【内 容】世界各地の昆虫標本やカブトムシ、クワガタムシ等の生体を展示する。
- 【期 間】令和7年8月13日（水）～8月16日（土） （日程調整中）

(2) 資料館における教育・普及活動（講座・教室等）

①考古学講座

- 【目 的】講義を通して、学ぶ楽しさや考古学への興味をもってもらい、身近にある文化財への関心を持ってもらう。
- 【内 容】考古学の成果をもとに、毎回違ったテーマで講義を行う。年10回開催。熊本市文化財課・周辺市町村の職員にも依頼し、最新の発掘調査成果等の話も織り込む。
- 【期 間】令和7年5月～令和8年2月 （日程調整中）

②古文書講座

- 【目 的】古文書の解読を通して時代背景を知り、歴史のおもしろさを探っていく。
- 【内 容】館外講師に依頼して実施。年間テーマに沿って、古文書の解読や時代背景について学ぶ。年10回開催。
- 【期 間】令和7年5月～令和8年2月 （日程調整中）

③ 各種体験教室（土器づくり・勾玉づくり・埴輪づくり・古代織り・編布あみ・藍染め 等）

【目 的】各種の体験を通して、考古や歴史、民俗の分野に興味を持ってもらうとともに、先人の素晴らしい技術を理解してもらう。

【内 容】熊本市に所在する資料などを基に作成した体験道具を使ったモノづくりや昔遊び及び伝統的手法を体験する。

【期 間】令和 7 年 5 月～令和 8 年 3 月（日程調整中）

（３）施設整備事業

- ・施設の長寿命化を目的とした熊本市公共施設等総合委管理計画に基づき、塚原歴史民俗資料館において防災設備及び受変電設備の改修等を行う。

熊本博物館協議会委員名簿

区 分	氏 名	所属団体・役職等
学識者	松下 純一郎	熊本県文化協会 副会長
学識者	鈴木 寛之	熊本大学文学部 准教授
学識者	鶴嶋 俊彦	肥後考古学会 副会長
学識者	渡辺 智恵美	別府大学文学部 教授
学識者（議会）	田島 幸治	熊本市議会教育市民委員会 委員長
学識者	池上 直樹	御船町恐竜博物館 主任学芸員
社会教育	早田 章子	熊本県立美術館 館長
社会教育	森 英樹	熊本県博物館ネットワークセンター 所長
一般公募	日高 未佳子	公募委員
一般公募	水洗 美津代	公募委員
家庭教育	清田 晃子	熊本市PTA協議会 常任理事
学校教育	菊川 靖浩	城西中学校 校長
学校教育	太良木 香江	秋津小学校 校長

任 期：令和５年（２０２３年）８月１日から令和７年（２０２５年）７月３１日まで